



援護事業に貢献 田嶋さんに感謝状



▲蒲島県知事から感謝状を贈呈される田嶋さん

戦没者遺族相談員など多年にわたり戦没者関係の援護事業に努める、田嶋日出志さん（宮地、72歳）に、熊本県から感謝状が贈られました。田嶋さんは現在、相談員ほか、阿蘇市戦没者遺族会の会長、阿蘇郡市の同会長、県の遺族連合会の常任理事を務め事業全般に携わっています。「戦後64年。遺族会も妻が減り遺児が主体になりましたが、今後も相互扶助と戦没者の顕彰に努めていきたい」と話される田嶋さん。11月19日、知事室で行われた感謝状贈呈式では、蒲島県知事から感謝の意が伝えられました。

役犬原分館（文化部）主催の歴史探訪が1月23日行われ、二重の峠から2kmの石畳と石的石御茶屋跡を辿る散策に、子ども会の皆さんらが参加しました。この石畳は江戸時代つくられた細川藩の参勤交代道で、市の文化財として保存されています。また、石的石御茶屋跡も参勤交代の折、大名行列が休憩に立ち寄っていた場所で、当時の面影を残し、その趣きからも見学が多く、最近トイレや駐車場も完備され、観光スポットとなっています。

今回の歴史探訪では、文化財保護委員の渡邊照義さんが、石畳の建設作業の苦労などを詳しく説明され、江戸時代と同じ眺めを体験しながら2kmの道のりを楽しみました。

江戸時代の参勤交代道を体感



中岳火口の噴火を想定し防災訓練



年間198万人が観光に訪れる阿蘇山上一帯。その中岳火口の噴火を想定した防災訓練が12月3日行われました。「阿蘇火山防災会議協議会」を中心に陸上自衛隊、熊本県警、消防署、消防団、郡市医師会、日赤等の医療機関及び山上関係者36機関、約400人の参加のもと、特殊車両等を使った被害者の救出、搬送、救護、また通信機器を利用した映像の配信、衛星電話を使った状況情報の伝達、ロープウェイゴンドラからの救出などの訓練が本番さながらに行われました。

お正月を前に整髪 散髪ボランティアに感謝



熊本県理容環境衛生同業組合阿蘇支部（西誠治支部長ほか19人）の皆さんが、12月14日、福祉施設（みやま荘、たちばな園、あそん里）の入所者140人散髪を無償で行いました。同組合では毎年、正月前と盆前にこのボランティアを実施しており入所者に喜ばれています。技術を生かしたこの奉仕活動は40年以上にわたり継続されています。